



チュロス(左)とつきあげ(右)＝校長室で

5月23日(木)校長室で書類を通していたところ、ドアをノックする音。2年生4人が緊張した面持ちで、小皿に盛ったお菓子を持って来ました。聞けば、総合的な学習の時間で探究するテーマと

郷土の味をお持ちしました

2年「総合的な学習の時間」の探究で

して「郷土のお菓子」と設定し試作してみたとのこと。一つは波佐見の米粉を使った「チュロス」。もう一つはジャガイモとサツマイモを使った「つきあげ」だそうです。チュロスは波佐見産の原料ということでの「郷土」の

お菓子、つきあげは昔ながら伝わる「郷土」のお菓子になります。チュロスはたっぷり砂糖がまぶされ、コーヒールピツタリだと思えました。また、つきあげは、中にあんこが入っていて、波佐見のお茶と合うんじゃないかなと思えました。

今後、材料の配合や他の食材との組み合わせを考えて改良するそうです。次の試食が今から楽しみです。

圧巻の優勝旗！

令和6年度東彼杵郡中体連



校長室に並ぶ優勝旗たち＝5月28日、波佐見中学校校長室で

5月26日(日)東彼杵郡内各地で、球技・武道の部活動やクラブチームに属する生徒たちの大きな目標である東彼杵郡中学校体育大会(通称・郡中体連)が行われました。週間天気予報では雨や曇りのマークが表示され、予定通りの開催ができるかどうか、心配していましたが、その予報は今回はありがたいことになり、絶好の中体連びよりとなりました。

各会場で熱戦が繰り広げられ、現在波佐見中学校の校長室には8本の優勝旗が飾られています。圧巻の光景です。結果の詳細については、次号に掲載します。

私は、鴻ノ巣公園の競技部長として大会運営に参加しました。軟式野球とソフトテニス女子の試合の様子を見ましたが、選手の頑張りはいちごいりました(感謝)。

校長日記

現在メダカを飼育中。水温20℃以上で産卵始めた。生まれた10数匹が元気に遊泳中。小さいが生命の力強さを感じる▼そういえば学生の時「メダカの学校」と「スズメの学校」の歌詞を比べた講義があった。「誰が生徒か先生か」と「ムチをふりふりチーパッパ」▼子供が主体的に探究を始めるとメダカの学校になる?先生も生徒も入り混じり問いに向かい協働して学んでいく▼対して子供はできないからスズメの学校のように教師が厳しく教えてくれるようにする?30年前も似た議論がされていた▼さて波中は?知識を教えることは必要だが個に応じ協働して探究するなら「メダカの学校」か?

波佐見中学校 学校便り

豊かな人生を切り拓き、よき未来の創り手となる生徒の育成

第6号
編集・発行
波佐見中学校
校長 池本敦司

波佐見中応援歌の存在

「健児波中 天下にしめせ〜♪」

前回の波佐見中の勤務の時は、中体連の陸上大会には全校生徒で応援に行っていたことを思い出しました。現在は選手のみ参加で彼杵シーサイドパークで行いますが、当時は波佐見中や彼杵中学校(現東彼杵中学校)のグラウンドで行ったりもしていました。

各校の全校応援というのがありその練習もしていました。第一応援歌、第二応援歌も練習し大きな声で歌っていました。ちなみに第一応援歌の一番「くまなく晴し大空の若き光を身に受けて/今ぞ輝くこの苦節/いざやふるわんこの腕を/力の限り戦わん/力の限り戦わん」歌える方どのくらいいますか?